

新しい資料がはまりました

『伊勢湾台風を忘れない 小学生用台本』（775）名古屋市南区役所 2018 年

『伊勢湾台風を忘れない 演技指導マニュアル』（775）

名古屋市南区役所 2018 年

前号で紹介した DVD に収録されている演劇の、台本と演技指導マニュアルです。細やかに書かれており、今後もこの演劇を通して、幅広い世代に経験を伝えていきたいという想いが伝わってきます。

『名古屋市博物館研究紀要 第 42 巻(2019)』（A06）

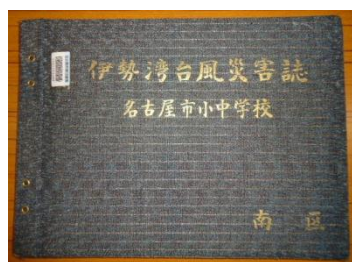
名古屋市博物館／編集 名古屋市博物館 2019 年

「大同製鋼の伊勢湾台風被災従業員救援」（鈴木雅／著）が収録されています。筆者が関係資料の調査・収集にあたる中で行きついた大同製鋼（現・大同特殊鋼株式会社）の資料。その資料から当時の救援活動や被害状況について調査し、まとめた論文です。

こんな資料があります

『伊勢湾台風災害誌－名古屋市小中学校』

【資料の概要】被災当時、名古屋市の小中学校が各学校の被災状況を報告した資料。全 15 冊（別冊 3 冊を含む）。区別。各学校ごとに、被害の概況【校舎の損害、浸水程度、休校の有無、罹災者児童生徒数、罹災者収容数（空白の項目もあり）】、写真、災害の経過が記されている。



項目が定められているため、非常にわかりやすく、被害状況の比較もできます。また、災害の経過は文章で書かれています。客観的な事実だけでなく、心情も書かれており、読んでみると、当時の混乱や悲しみが伝わってきます。

施設紹介【伊勢湾水理環境実験センター】



図書館（以下、図）：7月27日（土）に、イベント『海の防災・環境 親子で体験』を開催される、伊勢湾水理環境実験センターの方にお越しいただきました。まず、どんな施設か教えてください。

伊勢湾水理環境実験センター（以下、伊）：国の機関「国土交通省名古屋港湾空港技術調査事務所」に併設された、港湾に関する実験を行う施設です。



3つの実験設備があります。まず、1つ目は「伊勢湾環境水槽」。伊勢湾から三河湾までを2千分の1スケールで再現した平面模型です。潮の干満、河川からの流入水を再現することができます。2つ目は「波浪平面水槽」。学校のプールほどの大きさで、波を起こす造波機が設置されており、防波堤の安定性等を平面的に見ることができます。3つ目は「長水路水槽」。防波堤の安定性等を断面的に見ることができます。

図：本格的な実験施設ですね。いつでも見ることができるんですか？

伊：事前の申し込みにより施設見学ができます。そして、年に1度だけ特別公開の日があります。それが、7月27日のイベントです。

図：年に1度だけのチャンスですね。イベントのことを教えてください。

伊：毎年夏休み期間中であるこの時期に、普段見ることが出来ない実験センターを特別に開放しています。親子で体験ができ、楽しめるイベントです。津波の実験、消波ブロックの製作、干潟の生き物とのふれあい、ドローン操作体験などを企画しています。今年は、伊勢湾台風襲来60年ということで、「大規模風水害への備え」をテーマに、学識者や伊勢湾台風経験者、気象関係者を交えた座談会を併せて開催します。

図：会場には、伊勢湾台風資料室所蔵の写真パネルを飾っていただけることになっています。そちらもあわせてご覧いただきたいと思います。今日はお忙しい中、ありがとうございました。



伊勢湾水理環境実験センター 南区東又兵衛町1-57-3 JR笠寺駅より徒歩10分

※イベントの詳細は、国土交通省名古屋港湾空港技術調査事務所ホームページをご覧ください。

http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/file/190626_sea-disaster-prevention&environment.pdf

お願い

南図書館では、伊勢湾台風に関する資料を常時収集しています。ご寄贈いただける資料がございましたら、ご一報ください。関連展示、講演会などの情報もお待ちしています。

発行：名古屋市南図書館 令和元年7月1日発行

名古屋市南区千竈通2-10-2

TEL：052-821-1732 FAX：052-821-3364

